

第 6 号「目標と評価規準④」

教科	観点	知識及び技能 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考・判断・表現)	学びに向かう力、人間性等 (主体的に学習に取り組む態度)
美術	目標	基本的に文末は「～できる」として示す。		文末は「～しようとする」として示す。
		〈注意！〉～熊本県がHP上の「指導案作成のポイント」で示している内容～ 基本的に文末は「～（す）る」として示す。		〈注意！〉～熊本県がHP上の「指導案作成のポイント」で示している内容～ 文末は「～しようとする」として示す。 但し、目標の「創造活動の喜びを味わい～」を軸に設定すること。
	(文例) ・制作の手順や方法を理解し、加工粘土に着色、モデリングして立体的な表現ができる。 (熊本県版の文例) ・装飾や配色及びそれらが感情にもたらす効果や、場所や造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。	(文例) ・地域の特産品、名物、名所などをゆるキャラにデザインし、アイデアスケッチを表現できる。 (熊本県版の文例) ・商品を受け取る人の気持ちのイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。	(文例) ・加工粘土の表現やゆるキャラに興味・関心をもち、意欲的に取り組もうとする。また、自他の作品を鑑賞し、ゆるキャラグランプリに投票をしようとする。 (熊本県版の文例) ・美術の創造活動の喜びを味わい、自身のイメージが多くの人に伝わるように、魅力的な装飾や配色などを考えることなどを基に表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとする。	
	「～している」と示す。 【熊本県】 「知識」は文末を「～理解している」 「技能」は文末を「～を表している」と示す	「～している」と示す。	文末は「～しようとしている」と示す。 ☆詳細については、国語や算数/数学と同様。	
評価規準		(文例) ・制作の手順や加工粘土の着色、モデリングの仕方が分かり、適切に材料を扱っている。 (熊本県版の文例) ・形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果などを理解し、造形的なイメージで捉えることを理解している。	(文例) ・地域の特産品、名物、名所などを考え、ゆるキャラとしてデザインしている。 ・色や形を工夫して立体的に表現している。	(文例) ・加工粘土の表現やゆるキャラに興味・関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 ・自分や友達の作品のよさを鑑賞し、グランプリにふさわしい作品に投票しようとしている。

- ・「最新教育動向2021」(明治図書)
- ・特別支援学校学習指導要領解説各教科編(小学部・中学部)